

3 / 2 4 (金) の発表



報道発表資料の配付日時 3月24日(金) 21時15分

発表項目 (行事名)	「日口さけ・ます漁業交渉(日本200海里水域)」の結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概要	令和5年3月20日(月)からウェブ会議にて開催されていた、日本200海里水域における日本国漁船によるロシア系さけ・ますの2023年における操業条件等を決める「日口漁業合同委員会第39回会議」が、本日妥結しましたので、別添(下記2枚)のとおりお知らせします。  ①プレスリリース(「日口さけ・ます交渉(日本水域)」の結果について) ②水産林務部長談話		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	

担当 (連絡先)	水産林務部水産局漁業管理課 国際漁業係 (担当者: 笠谷) TEL ダイヤルイン 011-204-5487 内線 28-402		
-------------	---	--	--

令和5年3月24日  
北海道水産林務部

「日ロさけ・ます漁業交渉（日本200海里水域）」の結果について

令和5年3月20日（月）から3月24日（金）まで、ウェブ会議で「日ロ漁業合同委員会第39回会議」が開催され、令和5年（2023年）の日本200海里水域における我が国漁船によるロシア系さけ・ますの操業条件等について妥結しました。

概要は以下のとおりです。

1 開催月日：令和5年3月20日（月）～3月24日（金）[ウェブ会議]

2 出席者

（1）日本側：廣野 淳（ひろの じゅん）水産庁資源増殖部長（日本政府代表）ほか、  
外務省、水産庁、北海道庁及び漁業団体の関係者

（2）ロシア側：シマコフ S.V. 連邦漁業庁船団・港湾・国際協力局長（ロシア連邦代表代理）ほか、  
外務省、連邦漁業庁等の関係者

3 結果概要

（1）漁獲量

カラフトマス、ベニザケ、ギンザケ、マスノスケ 計1,550トン（※2）（前年同）

シロザケ 500トン（前年同）

合 計 2,050トン（前年同）

（※2 ベニザケ、ギンザケ、マスノスケについては、3種合わせて1隻当たり1トン以内とする。）

（2）機材供与

2億円～約3億13万円の範囲で漁獲実績に応じて決定することで一致。（前年同）

連絡先：北海道水産林務部水産局漁業管理課  
国際漁業係

代表：011-231-4111（内線28-406）

直通：011-204-5487

日口さけ・ます漁業交渉  
(日口漁業合同委員会第39回会議：日本200海里水域内)  
妥結に関する水産林務部長談話

日本200海里水域内における我が国さけ・ます漁船の操業条件等を協議するため、本年3月20日から開催されていた「日口漁業合同委員会第39回会議」が、3月24日に妥結しました。

本道のさけ・ます流し網漁業は、長い歴史を有し、水揚げされる「時鮭（トキシラズ）」は、脂のりと身の柔らかさから珍重され、春の風物詩として皆様に親しまれているほか、流通や加工、漁業資材などの関連産業が多く、道東地域の経済に大きく貢献してきましたが、近年は、不安定な漁場形成から水揚げ不振が続いており、着業する方々も年々減少するなど、大変厳しい状況にあることから、道では、本漁業が今後も継続できるよう、関係団体の方々とともに国に要望してきました。

漁業者の皆様の強い思いを受け止めていただきながら臨まれた今交渉でしたが、操業条件等については、昨年と同様の内容で確保されるとともに、例年どおり、4月10日の操業開始日に出漁が叶うこととなるなど、政府代表をはじめ、関係者皆様の特段のご尽力に対し、深く感謝を申し上げます。

道としましては、出漁を予定している漁業者の皆様を対象として、法令の遵守を徹底する操業指導会議を開催するとともに、漁業取締船を配備するなど、適正に操業が行われるよう、取り組んで参ります。

令和5年3月24日

北海道水産林務部長 山口 修司